

2023年度
第11期 次期経営者養成講座

Art of Management Program

～道を究めた達人の“生き様”に触れ、経営の実践知を涵養する～



公益財団法人 日本生産性本部

確固たる「経営観」を養う、 稀有なる学びの数々

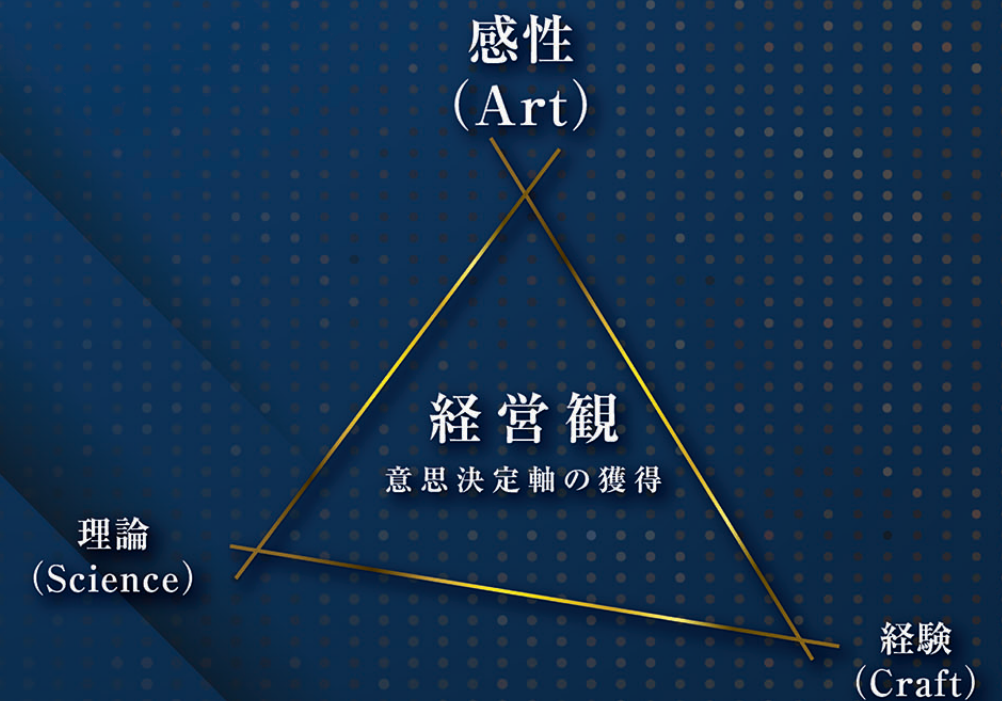
先行きが不透明で不確実な現代のビジネス環境において、Science(経営理論)による分析やこれまでの経験といった過去の延長線上からは答えが導きだせない時代となりました。

そうした中で組織の進むべき方向性を示し先導する為には、理論や理屈を超えた意思決定軸が必要となります。

本プログラムでは、講師となる卓越した経営リーダーをはじめ各分野で一流の方々の生き様、伝統に触れていただきます。
それにより、哲学、感性、美意識といったArt(実践知)の力を涵養し、
自身の経営者としてのあり方、すなわち「経営観」を確立することで、
確固たる意思決定軸を獲得していただく事を目的としております。

本プログラムにおける「Art」の定義

自身の幅広い知識・教養、体験から導き出される
合理性で担保されない感性や感覚を「Art(実践知)」として広義に捉え、
経営者にとって必携の能力であり、経営観を見出す為の重要な要素として定義しております。



プログラムの構成 3つの学びの形を通し深みのある知の醸成を目指します。

追体験

一流経営者たちは、その時、何を考えたか

経営者育成に重要とされている「修羅場体験」の機会を意図的に設けることは容易ではありません。この追体験では、創業や経営改革で壮絶な修羅場を潜り抜けてきた経営者から直接話を聴き、自分だったら同じ場面でどのように経営判断するだろうかとイメージして疑似体験をすることで、自身の経営者としてのあり方の軸を模索・構築していただきます。



講座

道を究めた者のみぞ見る地平とは

いけばなや茶の湯、能などの伝統文化が数百年以上に渡って受け継がれてきた理由の中に、企業経営の永続にも通じる示唆があります。また、それぞれの教えの中には、Artの力を磨くエッセンスが含まれております。そうした文化の真髄について、各分野一流の方を講師として招聘し、薫陶を受けます。



体感

物事の真髄を感じ取る非日常の時間

一流の講師陣から本物の技を披露いただき、講座での学びを実際に体験します。ひとつひとつの所作・作法にどのような意味が込められているのか、自分自身のイメージをどのように表現するか、日常では感じ得ない感覚を研ぎ澄ますことでArtの力を養います。



内省

プログラムを通じて得た学びや気づきを参加者間で共有する時間を設け、思考を言語化することによって感覚的に得た学びを明示し深みを増します。

プログラム (昨年度実績に基づくイメージです。2023年度の詳細は確定し次第、随時ウェブサイトに掲載致します。)



日程	例会	開催場所	プログラム・講師
8月	第1回(通学)	東京	オリエンテーション
			追体験 元 ローランド・ベルガー 日本法人会長 遠藤 功 氏
			報告 前期生による実践報告会
			交流会
9月	第2回(合宿)	宮城	講座 体感 東日本大震災 語り部 中井 政義 氏
			追体験 GRA 代表取締役CEO 岩佐 大輝 氏
10月	第3回(通学)	東京	追体験 ヤマトホールディングス 特別顧問 木川 真 氏
			追体験 明治屋 前代表取締役社長 松沢 幸一 氏
	第4回(通学)	東京	講座 体感 能：能楽師 安田 登 氏
11月	第5回(合宿)	長野(伊奈)	講座 人と経営研究所 所長 大久保 寛司 氏
			追体験 伊那食品工業 代表取締役社長 塚越 英弘 氏
			体感 伊那食品工業視察
12月	第6回(通学)	東京	講座 体感 雅楽師 東儀 秀樹 氏
			追体験 JFEホールディングス 名誉顧問 数土 文夫 氏
	第7回(通学)	神奈川(鎌倉)	講座 体感 臨済宗円覚寺派管長 横田 南嶺 氏
1月	第8回(通学)	東京(武蔵野美術大学)	講座 体感 武蔵野美術大学 学長 長澤 忠徳 氏
	第9回(通学)	東京	追体験 シニフィアン 共同代表 朝倉 祐介 氏
2月	第10回(合宿)	京都	講座 いけばな：華道家元池坊 次期家元 池坊 専好 氏
			追体験 堀場製作所 代表取締役会長兼CEO 堀場 厚 氏
			講座 体感 茶の湯：裏千家 業舩による指導(平成茶室)
3月	第11回(通学)	神奈川(湘南)	講座 体感 書：書道家／現代アーティスト 武田 双雲 氏
	第12回(通学)	東京	追体験 ミライロ 代表取締役社長 垣内 俊哉 氏

濃密な議論、学びの土台づくりの為、各例会には事前課題(書籍の通読等)がございます

プログラムの特長

圧倒的一流から学ぶ

「人は、人から受ける刺激以上のものはない。」本プログラムでは卓越した実績と豊富な経験を持つ経営者、各分野で“道”を極めた第一人者を招聘し、ひざ詰めの議論や対話、実技や指導を通して参加者の感性を揺さぶります。

他社から選抜された経営幹部との相互啓発・研鑽

将来の経営者候補と目されるメンバーとのディスカッションや討議を多用し、座学にとらわれない双方向性の高いプログラム運営をいたします。相互啓発・研鑽を重視し、異質な視点を取り込むとともに、自身の価値観や経営における特性を意識することで自身の経営観を確立します。

欠席しても翌年度プログラムで再度履修可能な「フォローアップ制度」

忙しい経営幹部はどうしてもプログラムに参加できない日程が出てきてしまいます。そうした方の為に、欠席してしまった回の翌年度プログラムに無料で参加することが可能な「フォローアップ制度」を設けております。

※開催直前の欠席により合宿費等でキャンセル料が発生した場合は、翌年度参加の際には実費分のみご請求させていただきます。
※都合により同じプログラムが翌年度は開催されない場合もございます。

登壇講師のご紹介 (2022年度実績 2023年度の詳細は確定し次第、随時ウェブサイトに掲載致します。)



日本経済・文化をリードする各分野の第一人者が登壇。



数土 文夫 氏

追体験

JFEホールディングス株式会社 名誉顧問
昭和39年北海道大学工学部卒業、同年川崎製鉄入社、平成15年JFEスチール代表取締役社長、17年JFEホールディングス代表取締役社長、22年相談役、26年特別顧問、令和元年から現職。NHK経営委員長(23~24年)、東京電力ホールディングス取締役会長(26~29年)。



松沢 幸一 氏

追体験

株式会社明治屋 前代表取締役社長
元キリンビール株式会社 代表取締役社長
1973年北海道大学農学研究科修士課程修了、キリンビール福岡工場入社。キリンヨーロッパ代表取締役社長等を経て、2009年キリンビール代表取締役社長就任し、2012年退任。大学客員教授等を歴任した後、2017年より明治屋代表取締役社長に就任。2021年に退任し、特別顧問を経て、22年同社退社。



木川 眞 氏

追体験

ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問
昭和48年一橋大学商学部卒業。同年富士銀行(現株式会社みずほフィナンシャルグループ)入行。平成17年ヤマト運輸入社、19年ヤマト運輸社長、23年ヤマトホールディングス代表取締役社長。ヤマトホールディングス代表取締役会長。令和元年より現職。



堀場 厚 氏

追体験

株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼 グループCEO
昭和23年京都生まれ。46年甲南大学卒業、50年カリフォルニア大学卒業、52年カリフォルニア大学大学院修了。同社社長を経て平成30年1月より現職。日本電気計測器工業会会長、京都商工会議所副会頭。



朝倉 祐介 氏

追体験

シニフィアン株式会社 共同代表
元株式会社ミクシィ 代表取締役社長兼CEO
兵庫県西宮市出身。競馬騎手養成学校、競走馬の育成業務を経て東京大学法学部を卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。東京大学在学中に設立したネイキッドテクノロジーに復帰、代表に就任。ミクシィ社への売却に伴い同社に入社後、代表取締役社長兼CEOに就任。2017年、シニフィアン株式会社を共同設立し、現任。



遠藤 功 氏

追体験

株式会社シナ・コーポレーション 代表取締役
元株式会社ローランド・ベルガー 日本法人会長
早稲田大学商学部卒業。米国ボストンカレッジ経営学修士(MBA)。三菱電機株式会社、米系戦略コンサルティング会社等を経てローランド・ベルガーに日本法人代表取締役社長として参画。2006年日本法人会長に就任した後、2020年退任。現在はフリーランス・コンサルタントとして、多くの企業の社外取締役、経営顧問を務め、次世代リーダー育成の企業研修にも携わっている。



塚越 英弘 氏

追体験

伊那食品工業株式会社 代表取締役社長
平成2年日本大学農獣医学部卒業、平成2年CKD株式会社入社、平成9年伊那食品工業株式会社入社、取締役購買部長、専務取締役、代表取締役副社長を経て、平成31年より現職。社員の幸せを追求する「年輪経営」を実践し、トヨタをはじめ多くの企業がその経営姿勢を学びに同社を訪れる。



垣内 俊哉 氏

追体験

株式会社ミライロ 代表取締役社長
障害を価値に変える「バリアバリュー」を提唱し、大学在学中に株式会社ミライロを設立。日本ユニバーサルマナー協会代表理事、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アドバイザー、日本財団パラリンピックサポートセンター顧問。



岩佐 大輝 氏

追体験

農業生産法人株式会社GRA 代表取締役CEO
1977年宮城県山元町生まれ。日本、インドで6つの法人のトップを務める起業家。大学在学中にITコンサルティングを主業とする株式会社ズノウを設立。2011年の東日本大震災後は、大きな被害を受けた故郷山元町の復興のために特定非営利活動法人GRAおよび農業生産法人株式会社GRAを設立し、先端施設園芸を軸とした「地方の再創造」をライフワークとするようになる。



池坊 専好 氏

講座 体感

華道家元池坊 次期家元

京都工芸繊維大学大学院修了(学術博士)。小野妹子を道祖として仰ぎ、室町時代にその理念を確立させた華道家元池坊の次期家元。アイスランド共和国名誉領事。2013年にはハーバード大学においてワークショップ、ニューヨーク国連本部において世界平和を祈念し献花を行う。



長澤 忠徳 氏

講座 体感

武蔵野美術大学 学長

1953年富山県生まれ。武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業し、Royal College of Art, London修士課程修了MA(RCA)取得。国際デザイン・シンクタンクの設立や、同日本代表を歴任し、2015年より武蔵野美術大学学長。2016年にはRoyal College of Artより日本人初のシニアフェローの称号を授与された。



安田 登 氏

講座 体感

能楽師

1959年生まれ。下掛宝生流ワキ方能楽師であり、日本で数少ない米国Rolf Institute公認ロルフアーの一人。ワキ方の重鎮、錦木岑男師の謡に衝撃を受け、27歳のときに入門。さまざまな形で能のワークショップも行なう。東京・広尾の東江寺で学びの場である寺子屋も開いている。著書、「能に学ぶ身体技法」、「異界を旅する能」など多数。



東儀 秀樹 氏

講座 体感

雅楽師

1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた家系。父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長した。宮中儀式や皇居での雅楽演奏会をはじめ、海外公演にも参加し、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。雅楽の持ち味を生かした独自の表現に情熱を傾ける。



武田 双雲 氏

講座 体感

書道家

昭和50年熊本生まれ。東京理科大学卒業後、NTTに就職。約3年後に書道家として独立。NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」世界一のスパコン「京」など数々の題字を手掛ける。メディア出演も多数。主宰する書道教室には約300名の門下生が通う。



横田 南嶺 氏

講座 体感

臨済宗円覚寺派管長

1964年和歌山県新宮市生まれ。筑波大学卒。大学在学中に出家得度し、卒業と同時に京都・建仁寺僧堂で修行。1991年より鎌倉・円覚寺僧堂で修行し、1999年、円覚寺僧堂師家に就任。2010年、円覚寺派管長に就任。2017年、花園大学総長に就任。



中井 政義 氏

講座 体感

東日本大震災 語り部
一般社団法人防災プロジェクト 代表理事
東松島市で販促のコンサルタントをしていたが、2011年の東日本大震災で自宅、事務所、仕事機材等すべて失う。震災発生から約45日目、被災地の現状を伝えるためブログを通して情報発信をスタートし、以降「風化させない」をキーワードに、講演をはじめ、語り部としての現地ガイド活動などを行っている。



大久保 寛司 氏

講座

人と経営研究所 所長

昭和24年生まれ。48年日本IBM入社、平成4年業務改革推進本部、6年CS担当、お客様重視の仕組み作りと意識改革に専念。平成12年に退職し「人と経営研究所」を設立、所長に就任。「考えてみる」(文庫)、「人と企業の真の価値を高めるヒント」(中公文庫)など著書多数。

参加者の声



黒木 英昭 氏

全日本空輸株式会社 取締役 常務執行役員

「マネジメントとは実践practiceであり、それはサイエンス(分析・理論)、クラフト(経験知)、そしてアート(直観・感性・共感)のバランスである」

10年ほど前、マギル大学ミンツバーグ教授のこの言葉に触発され、それまでのマネジメント経験を通じて得た経験値(クラフト)に加え、アカデミックにサイエンスとして経営学を学ぶ機会を経て、このAOMプログラムで「経営におけるアートの要素」を体系的に体得する機会を得ました。

多様な追体験・体感プログラムを通じ、日本を代表する経営者の方々や、「道」を究めた各界を代表する講師の方々から、言葉だけでは表現や理解が困難なアートの世界を感じることができました。こうして得た共感する力、共感を伝える力は、自身のマネジメント・スタイルのみならず、人間としての成長にも繋がっていると感じています。

少人数制で非日常的な体験・体感を共有した同期の存在も大切にしたい財産です。



神原 里佳 氏

株式会社オリエンタルランド
取締役常務執行役員 人事本部長

トップとの対話、道を極めた方々の生き方を通して、企業人である前にどんな人間であるべきなのか、どう生きるべきかを深く考え、自問自答する研修でした。私たちは普段、組織を動かすリーダーという役割を担っています。その上で常に必要とされるのは「決断力」や「実行力」、「改革する力」です。しかし大前提として必要なことがあります。それは「トップの器」であり、さらには「人としての器」ではないかと思います。自分の器を大きくしていく鍵がこの研修の中に組み込まれていたように思います。そして何よりも大切なのは「何事にも謙虚に向き合う姿勢」だと、この研修を体感した私の結論です。今の気持ちを大切に自分の器を大きくする努力を続けていきたいと思っています。

※肩書、所属、役職等は2022年11月1日時点

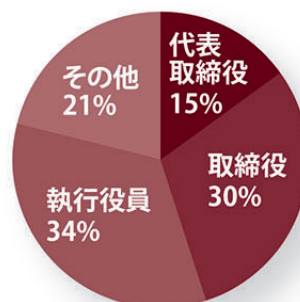
■ 参加・派遣企業 (2013～2022年度実績)

伊那食品工業	トヨタ自動車
ANAホールディングス	布目電機
ENEOS ホールディングス	ニチレイ
SMBCH興証券	肥後銀行
オリエンタルランド	日立国際電気
オリックス	ヒロセ電機
キッコーマン	富国生命
ケンコーマヨネーズ	堀場製作所
JFEホールディングス	丸住製紙
日本たばこ産業	三越伊勢丹ホールディングス
鈴与	ヤマトホールディングス
ソニー銀行	UACJ
中外製薬	ヨコタエンタープライズ
帝人	リコー
東急	りそなホールディングス
東京エレクトロン	ロイヤルホールディングス

他
延べ55社、123名参加

■ 参加者役職

現経営者、次期経営者候補の方々が多数参加



参加・申込要項

期 間	2023年8月～2024年3月(予定) 全12回 15日程度 ※土曜日開催も有
参加対象	企業経営者、経営幹部(および候補者) 定員15名
会 場	通学：都内近郊 合宿：宮城、長野、京都(全3回予定)
1人あたり 参加費 (消費税10%含む)	●先行割引価格【2023年5月31日(水)お申し込み分まで】 賛助会員：2,255,000円 一般：2,585,000円 ●通常価格 賛助会員：2,475,000円 一般：2,805,000円 ●ご継続割引 前年度に引き続きご派遣いただいた場合、上記価格からさらに10%を割引とさせていただきます。 ※参加費には書籍購入費、その他教材費、飲食費、合宿費(3回分)がすべて含まれます。
申込み方法	ウェブサイトからお申込みください。 なお、受講者が未定の場合もご予約をお受けしております。詳しくは事務局までお問い合わせください。 お申込みは先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。 
その他	●上記、開催8営業日前を過ぎてのキャンセルの場合には、所定のキャンセル費を申し受けます。 ※教材(事前課題書籍等)発送以降(23年7月中旬頃)のキャンセルの場合、8営業日より前であっても実費分をご請求申し上げます。 ●日本生産性本部の活動にご賛同・ご協賛いただく賛助会員制度がございます。 本プログラムをはじめ、事業参加費の割引など各種特典もございますのでご入会をお勧めいたします。 詳しい内容については下記、担当部署までお気軽にお問い合わせください。 生産性運動基盤センター会員グループ TEL：03-3511-4026



公益財団法人 日本生産性本部
総合アカデミー トップセミナーグループ AOM事務局
TEL 03-5511-2028 E-mail aom@jpc-net.jp